

2020年12月18日

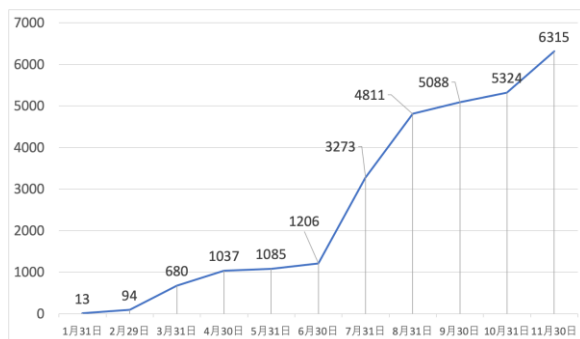
## コロナ禍における香港人の余暇の過ごし方～注目のアウトドア～

香港事務所長 山奇 智幸

### 1. 香港における新型コロナウイルス感染症の状況（12月4日現在）

香港では、11月下旬頃から新規感染者数が増加したため（図1）、飲食店に対する夜10時迄の営業制限及び1テーブル2名迄の人数制限のほか、小中学校に対する登校停止及び年内の在宅学習への切替など、感染対策を強化している。また、12月16日から予定されていた香港ブックフェアも中止となった。

日本政府の入国規制や香港政府の香港居民に対する香港入境後の隔離措置（14日間）は継続しており、訪日旅行の再開の目処は立っていないが、今回は、香港でも3密回避のために人気が出ているアウトドアをご紹介します。

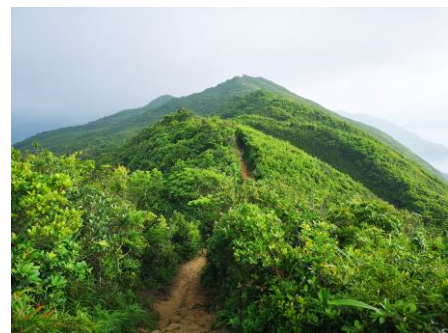


（図1）香港での感染者数推移（香港政府 HP）

### 2. 香港で人気のアウトドア活動

#### （1）トレッキング

香港で一番身近なアウトドアといえばトレッキング。公共交通機関で行けて、日帰りで気軽に楽しめることから、香港では定番のアウトドアであるが、コロナ以降は以前にも増して人気が高まっている。香港は高層ビル群のイメージが強いが、郊外には整備された自然豊かなトレッキングコースが初心者から上級者向けまで数多く整備されている（写真1）。



（写真1）人気コースの Dragon's Back  
（筆者撮影）

#### （2）サイクリング

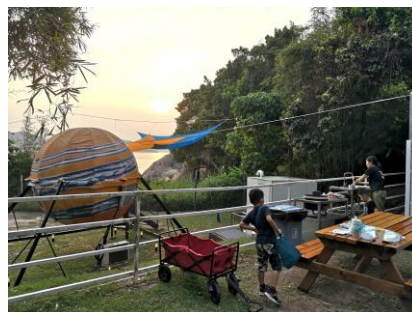
九龍半島では子供も楽しめるサイクリング専用のコースが整備されている（写真2）。駅の近くにレンタルサイクルショップがあり、海沿いや川沿いの景色を楽しみながら、のんびりとサイクリングを楽しむことができる。



（写真2）レンタルショップ（左上）  
と自転車コース（筆者撮影）

### (3) キャンプ

コロナ禍以降、特に注目を集めたアウトドアがキャンプである。旅行に行けない香港人の間で、非日常を体験できるため、新しいキャンプ場やグランピング施設が続々誕生している（写真3）。また、香港中心部の空きテナントに、キャンプ用品をはじめとする大規模なアウトドア用品専門店がオープンするなど、香港人のライフスタイルに溶け込み始めている。



（写真3）長洲島にある人気のキャンプ場（筆者撮影）

### (4) 釣り

香港の中心部ヴィクトリアハーバーでは多くの釣り人を見かける。週末には乗合船や海上筏の釣り堀で釣りを楽しんだりすることができる（写真4）。街中には日本の釣り用品を中心に販売する釣具店もあり、今後注目される可能性が高いアウトドアの一つと言える。



（写真4）筏式の釣り堀（筆者撮影）

## 3. 今後の見通し

訪日旅行の再開後も、コロナ以前から人気のショッピングやグルメは旅行目的のひとつとして変わらないと思われるが、コロナ以降、香港でアウトドアの魅力を知った香港人の中には、日本でのアウトドア体験に関心を持つ人が増えると思われ。現在、福岡県内にはオルレが6コースもあり、英彦山や宝満山など日帰り楽しめる登山・トレイルコースも充実している。また、サイクリングコースやサイクルステーションの整備も進んでおり、福岡のサイクル・トレイルを紹介するウェブサイト「CYCLE&TRAIL FUKUOKA」を中心に情報発信が行われている。今後は、街と自然が共存し、中心街から気軽に行ける自然豊かなアウトドアスポットが充実している福岡の魅力を、コロナ後のインバウンド誘客も視野に入れて、香港はじめ海外に発信していくことも重要であると思う。

また、コロナ以降、日本でも3密回避もありキャンプ人気が高まっているが、香港人の中でも、日本でキャンプや釣りを体験したいと思う人が増えると思われる。香港の旅行客は、以前からレンタカーを利用して郊外に行く人も多かったため、郊外でのキャンプや釣りなども、受け入れ体制さえ整えば需要は出てくると思われる。また、日本製品に対する購買意欲が旺盛な香港人観光客の中には、キャンプや釣りを体験するだけでなく、日本製のキャンプや釣り用品の購入を希望する人も多いと思われる。今後は、コロナ禍で変化している香港人のニーズを上手く拾いながら、旅の提案を行って行くことが重要であると思う。